

「京の五節句と年中行事」

じんじつ

人日の節句展



人日の節句って？

古代中国では、正月元旦の「鶏」から始まり、6日までにさまざまな動物を占ったそうです。そして7日目は「人」を占う日とされており、処刑を行わないとしていたため、1月7日は「人日」と呼ばれました。

この日は、邪気を払い、年中無病を祈って7種の野菜を入れた汁物を食べたことが日本にも伝わり、別名で「七草の節句」ともいわれています。

「人日の節句展」では、正月飾りや迎春花のいけばな等を展示し、皆様の無病息災をお祈りします。新しい年の健康を願うひとときを、ぜひ会場でお過ごしください。

期間	令和8年1月6日(火)～9日(金)午前9時～午後5時
場所	上京区総合庁舎1階 区民交流ロビー
主催	京の暮らしの文化普及啓発実行委員会、上京ふれあいネット運営協議会
協力	いけばな嵯峨御流 教授 石川利佳甫、be京都こどもいけばな教室、嵯峨御流芳友会

1月7日は
「七草粥」
を食べよう

七草とは、「芹（せり）・薺（なずな）・御形（ごぎょう）・繁縷（はこべら）・仏の座（ほとけのざ）・苳（すずな）・蘿蔔（すずしろ）」ですが、すべてを合わせると約12種類の薬膳効果があるようです。お正月に食べ過ぎて弱った胃や風邪の季節には、うってつけの風習かもしれません。



問合せ 上京区役所 地域力推進室(企画連携担当) 電話075-441-5029

 **文化庁** 本事業は、令和7年度文化庁文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）の助成を受けて実施する「京都の地域文化財総合活用推進事業」の一部です。